



【2017-10-18】

遊道楽歩（雑感）

書を友に、酒を楽しみ、
人生を味わう

今週の雑感

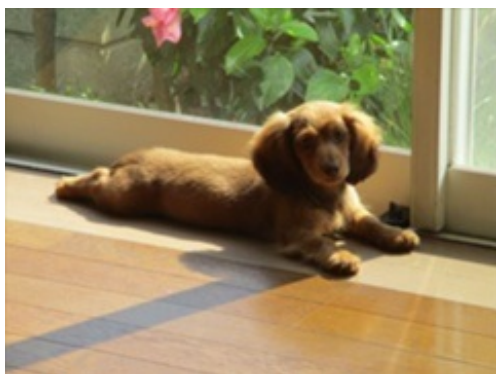
『我が家に子犬がやってきた！』

長野修二

我が家に子犬がやってきた！

先日、我が家に子犬がやってきました。

犬種はミニチュアダックスですが、まだ生後53日（10/8）の子犬です。



我が家で犬を飼うのは2回目ですが、最初に飼い始めたのは子供たちが小学生、幼稚園のときですから約20年前でしょうか。

当時もミニチュアダックスを飼うことになり、15年ほど我が家のよき相棒でした。

子供たちは、この犬にいろいろなことを教えてもらったようです。

幼稚園や小学校から帰宅するとかくれんぼをしたり、犬自らが自分のおもちゃをもってきていっしょに遊ぼうとって、遊んでもらったりと毎日が犬を中心とした生活だったようです。

私などは、仕事にかまけて平日の子供たちの面倒をみたことはありませんでしたが、相棒は優しく子供たちのパートナーとして彼らの生活を支えてくれました。

私はそれほど犬や猫が好きではありませんが、このとき飼ったミニチュアダックスの犬柄に惚れました。

とてもやさしい性格で子供たちの面倒をみてくれ、だらしない一家の主を一応「主」としてみてくれ、私に甘えてくるのも上手な犬でした。自分の生活を大事するときは、自分の寝床でゆっくりと休んでいたよに記憶しています。

人間に対するやさしさと同時に自分のペースもきちんともっているようでした。

ほとんど病気もせず、またけがもせず、老衰でなくなるまで自らの犬生をしっかりとみせてくれました。

また、その生き方は自分に厳しく私たち家族に優しくという見事なものでした。

私は人間以外の動物から学ぶことなどないように思っていました、我が家の犬をみながら動物として気丈に生きている姿をみることで、自らの人生における示唆に富んだ実相を学ばせてもらったようです。今でもこの相棒以上の生き方ができているかと言えば、甚だ疑問でしょうか。

それほどまでに感動的で見事な一生でした。

今回は以前より時間的な余裕があるので子犬の立場にたって眠くなるまで（大体1時間ほど）遊んであげて朝寝、昼寝（どちらも1時間半から2時間くらい）をさせてあげながら育てています。

どうしても子犬はゲージに入れると甘えて泣きますので、なるべくいっしょに遊んであげて、眠くなるタイミングで寝床に入れてあげています。

疲れているのでほどよく甘え声を出しながらよく寝てくれます。

犬は人間と違って1日を7時間で生活しているようです。

とくに子犬や老犬は18時間から20時間くらいの睡眠が必要らしいということをはじめて知りました。

ずっと遊んでいたいのですが、私の生活リズムと犬の睡眠時間を考量しながらやさしく育ててあげたいと考えています。

もっとも、人が抱っこして寝かせると癖になるようですから、少しかわいそうですが、これから先の私と愛犬の関係を適切にとっておくために、ゲージの自分の寝床で寝かせています。

いずれ成犬になると自分で寝床へ行って寝るようになりますし、トイレも自分でできるようになりますから、それほど手間はかかりません。

現在2か月ですから成犬になる来年の4月ごろまでが子犬としてのかわいらしさを楽しめる時間でしょうか。

今度の犬は夜中によく寝てくれるので以前の犬よりは生活のリズムが崩れず大変助かっています。

子供たちが独立し夫婦で生活するようになると、犬はまるで自分の子供のように思えるものです。

生活に潤いがでて、かわいらしいしぐさに笑顔が絶えない生活が生まれます。

散歩ができる12月までもう少し時間が必要ですが、散歩ができるようになると成犬までの準備期間となり、だんだんと私たち夫婦の手からはなれていきます。

この短い期間、幼い子犬の仕草にいやされながら過ごしていきたいものです。

人間と違いあっという間に大人になりますから、この期間の子犬には背一杯の愛情を注いであげたいと思います。

好きな日本酒もしばらくお休みです。